

おはなししからとびだした！りょうり

1月の本

まじょ たっきゅうびん 魔女の宅急便

「おちこんだりもしたけれど、わたし
私はげんきです。」

“13歳になったら、魔女としてひとり立ちするために、家をはなれて知らない町で1年間くらす”というきまりでキキは満月の夜、ほうきにのって黒猫のジジと一緒に新しい町へと旅立ちました。

海の見えるすてきな町で、キキは自分が使えるただ一つの「ほうきで空を飛ぶ魔法」をいかして宅急便の仕事をはじめます。知らない町での修業はうまくいかないこともあるけれど、つまずきながらも前向きにがんばるキキからはたくさんの勇気をもらえます！



作:角野 栄子
画:林 明子
福音館書店

とびだしてきたおりょうりは...

キキの住む町では大みそかの夜に家族で大きな肉団子を食べます。
物語の中ではリンゴのような大きさですが、給食では食べやすい大きさの肉団子にしました！

クラスのみんなといっしょに食べると心も体もぽかぽかになるスープは、寒い時期にぴったりですね。



1月23日の
給食に登場！



